

討議テーマ一覧と  
アンケートのグループ別集計  
(Aグループ)

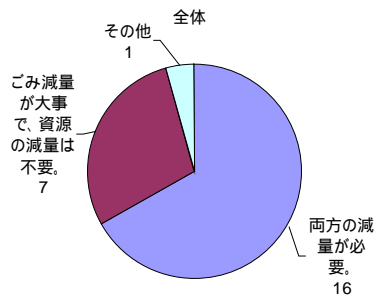
なごや循環型社会・しみん提案会議  
実行委員会

# 討議テーマ一覧

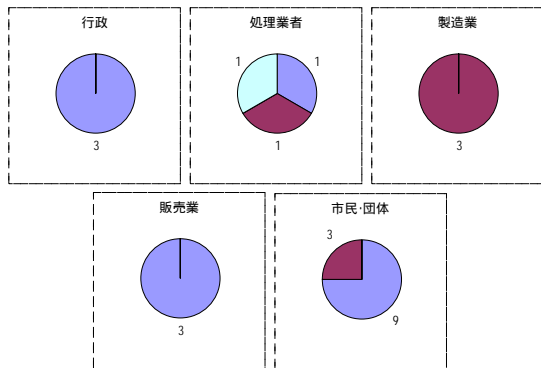
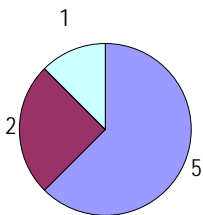
討議テーマ	テーマの内容	必須	自由
不要物の削減、ごみ削減	ごみ減量でよいか？資源の減量も必要か？ そのほか、容器のリターナブル化や、レジ袋削減の具体的な方法について		
生ごみ対策	生ごみリサイクルの方法は？		
リサイクルの方向性	プラスチック類のリサイクル方向性は？		
焼却の方向性	エネルギー回収の優先順位も含めた焼却処理のあり方は？		
埋立の方向性	埋立量の“最少化”と“ゼロ”の解釈は？		
費用負担、ごみ有料化など	有料化の位置づけは？“有料”や“得”と意識啓発との関係は？		
意思決定、取組みの場、役割分担	しみんの具体的な役割分担とは？ そのほか、ボランティアからビジネス展開まで、今後の必要となる活動の場について		
教育・人材育成	教育・学習プログラムや体制を充実させるためのポイントは？		
情報・コミュニケーション	より効果的な情報発信・交換とは？(届く情報・盛んな交換とは？)		
価値観・ライフスタイル	なごやで共有すべき価値観とは？普及・実践のための方法は？		

# 不要物の削減, ごみ削減

## 問1 ごみと資源の両方の減量



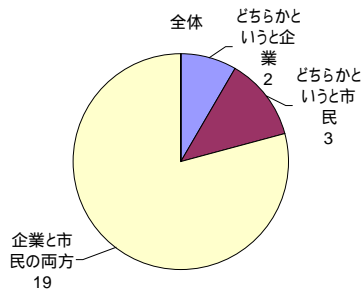
Aグループ



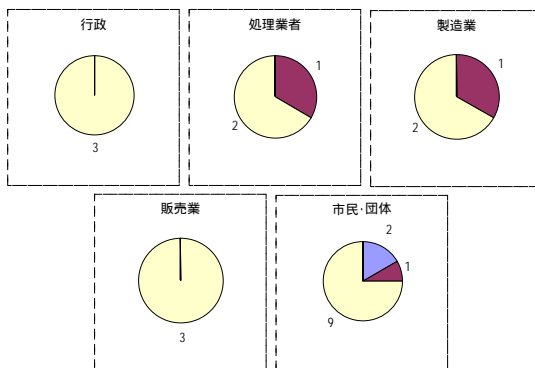
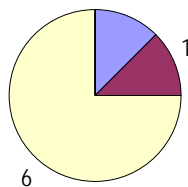
(その他の記述)

リユースできるものはできるだけリユースすべき。残りはリサイクルする方向がよいと思う。

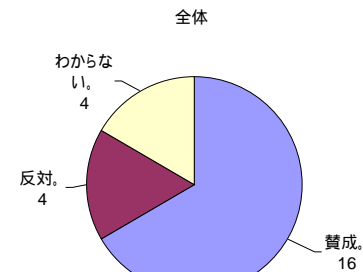
## 問2 発生抑制の推進主体



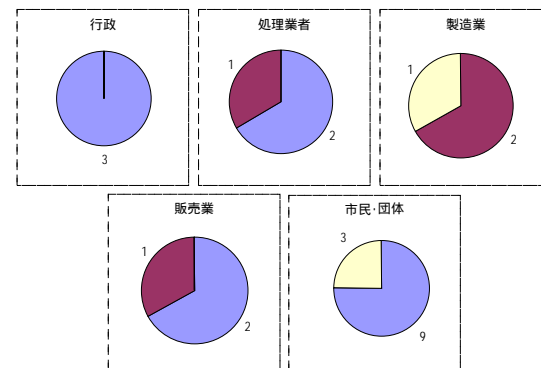
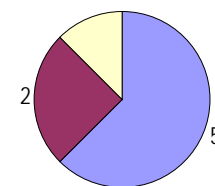
Aグループ



## 問17 EPRについて



Aグループ

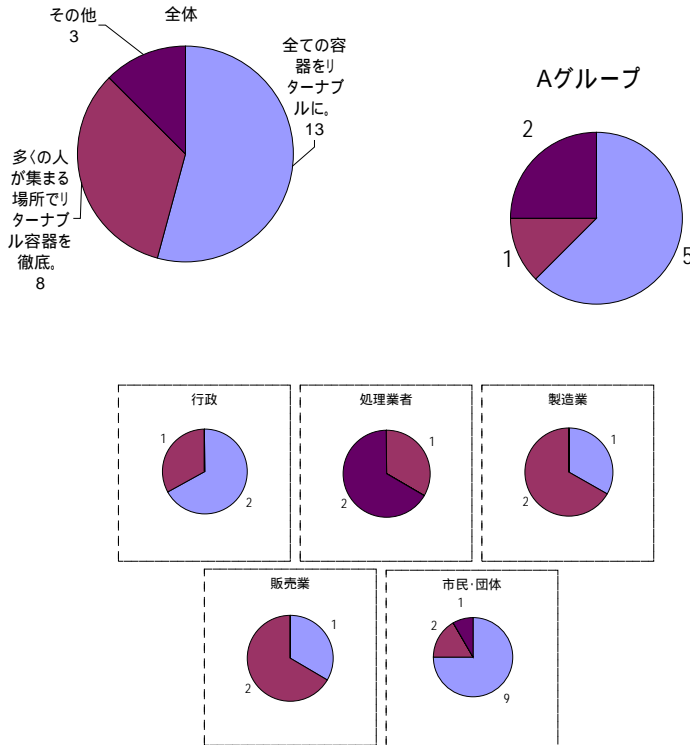


(付帯意見)

製品を購入・利用する人(企業)が責任を持つべき、そうすれば購入時に抑制できる。

# 不要物の削減, ごみ削減 ... その2

## 問3 飲料容器のあり方



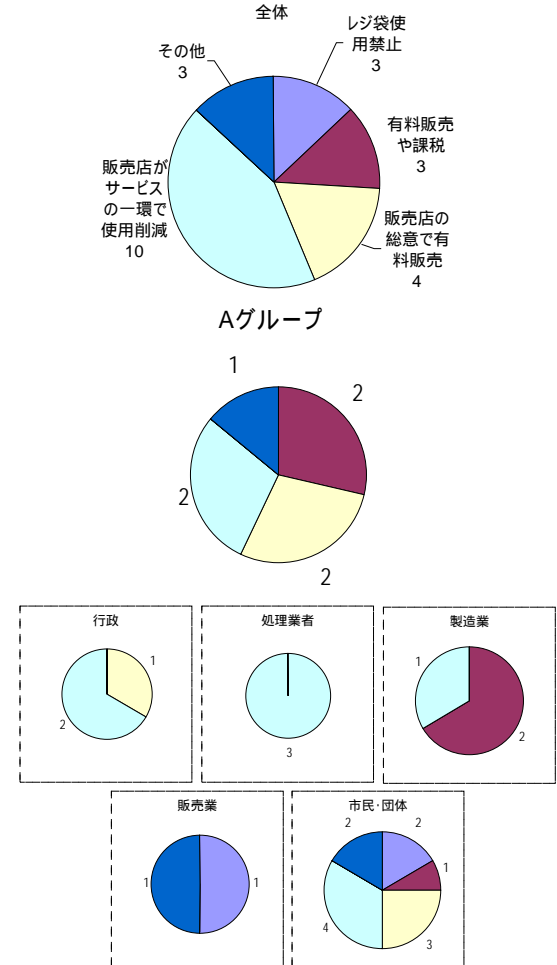
(付帯意見)

全ての容器のリターナブルは不可能。限られた地域のなかで、びんやペットボトルなど広範囲に使われる容器に限定するほうが良い。

リターナブル容器の流通(消費者 メーカー)の構築、及びコストについて、誰が負担すべきか検討すべきである。

汎用性のあるものはリターナブルにその他のものはワンウェイでもよいのでは。

## 問16 レジ袋の扱い

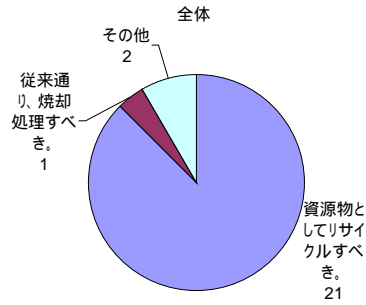


(その他の記述)

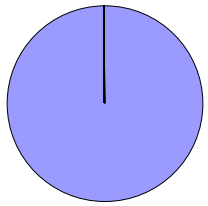
市民への啓蒙活動と同時に、業界への働きかけを行政等がする。

# 生ごみ対策

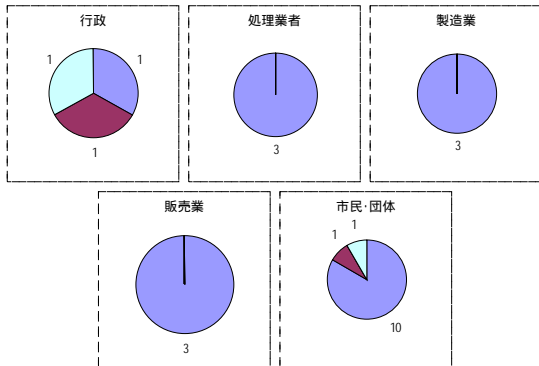
## 問10 生ごみの扱い



Aグループ



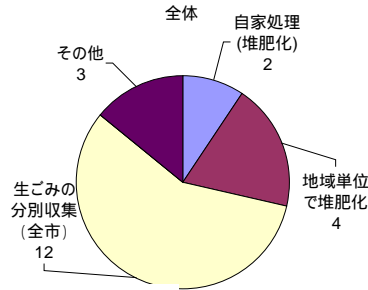
8



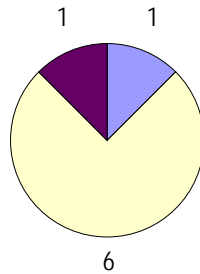
(付帯意見)

バイオマス技術などの利用により自然に帰する。

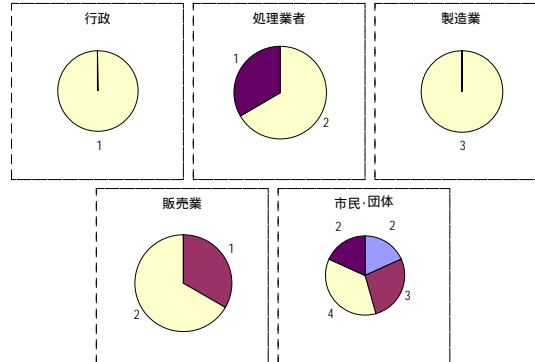
## 問11 生ごみリサイクルの方法



Aグループ



6



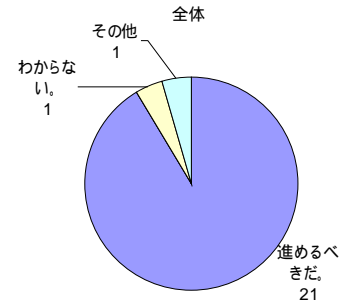
(その他の記述)

「地域単位で堆肥化」と「分別収集(全市)」を上手く組合せられれば良いと思う。

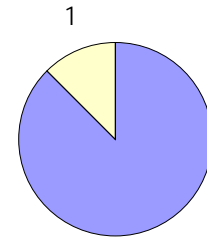
(付帯意見)

ディスポーザの利用、バイオ技術の利用

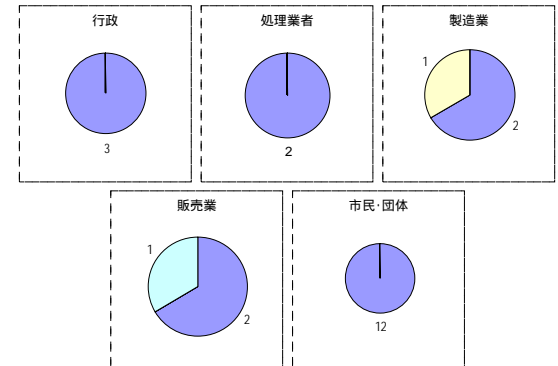
## 問12 生ごみそのものの減量



Aグループ

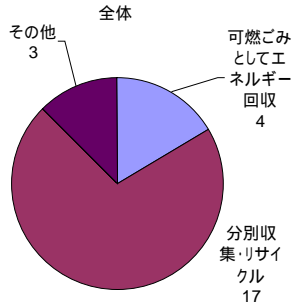


7

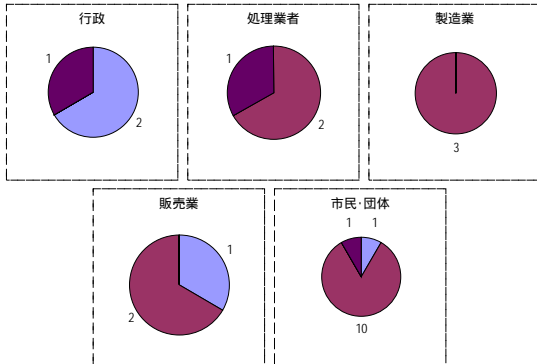
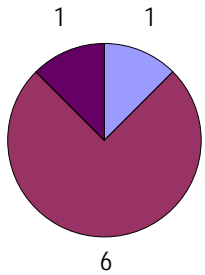


# リサイクルの方向性

## 問13 容器以外プラ類の扱い



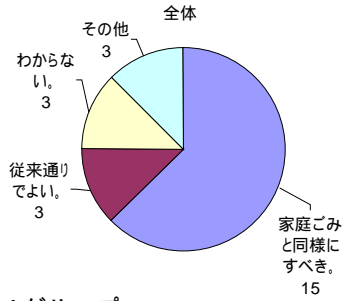
Aグループ



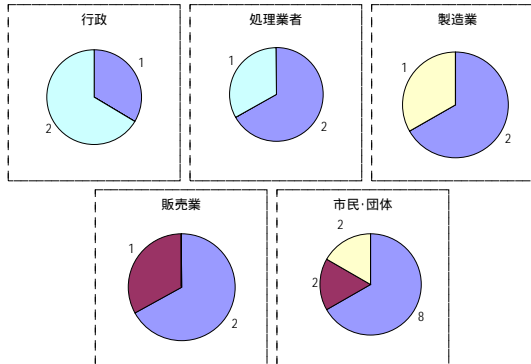
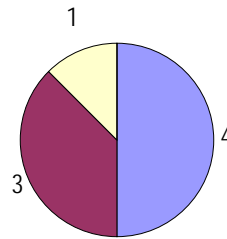
(その他の記述)

事業者による引取、リサイクルを確立するが、それまでの間は可燃ごみとしてエネルギー回収を進める。

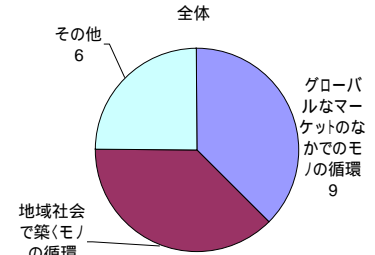
## 問19 事業所からの資源の扱い



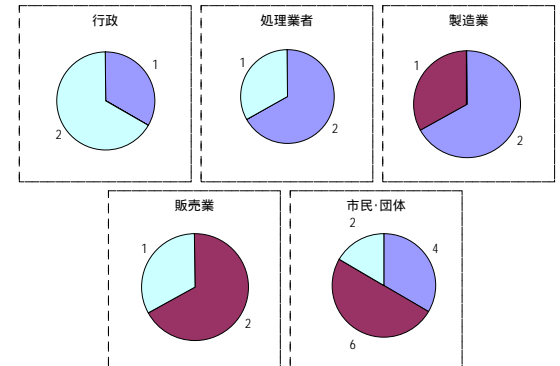
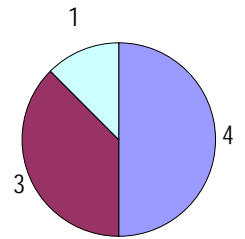
Aグループ



## 問21 資源物の循環



Aグループ

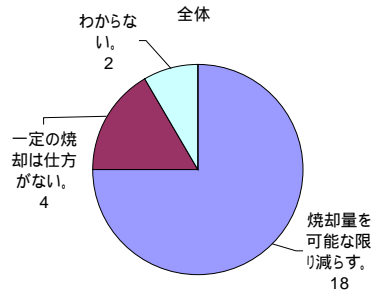


(その他の記述)

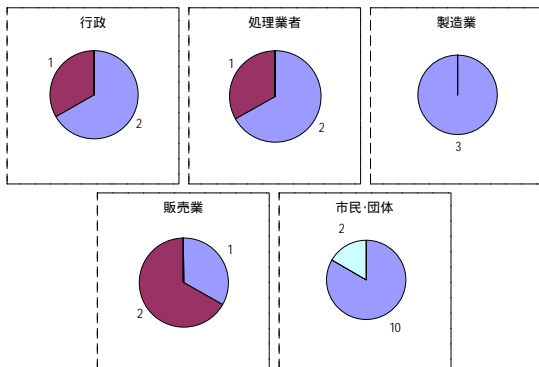
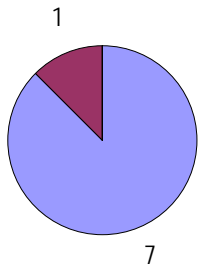
リサイクルであるならば、グローバルな視点は欠かせず、リユースであるなら、できるだけクローズされた範囲で行われるのがベター。

# 焼却の方向性

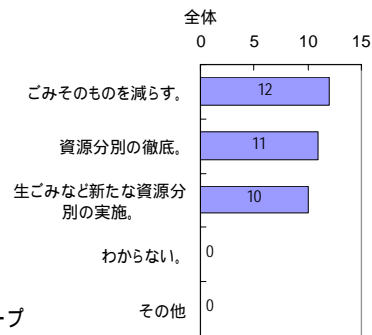
## 問5 焼却処理のあり方



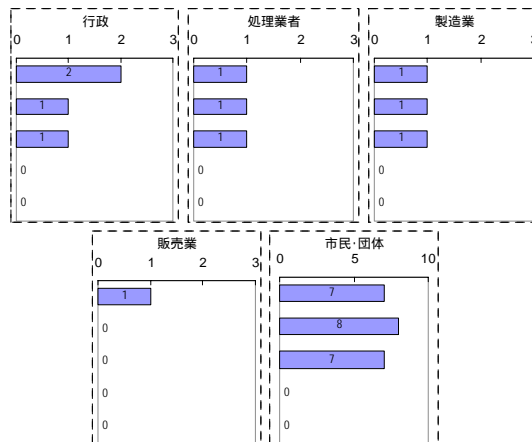
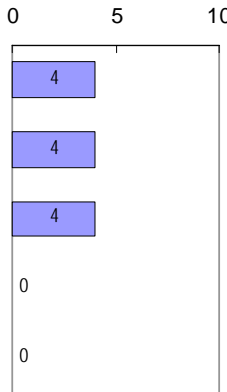
### Aグループ



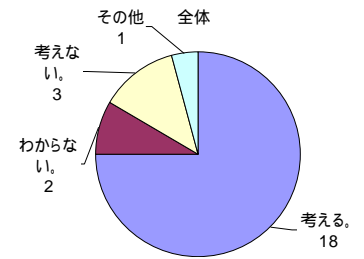
## 問6 焼却量の減らし方



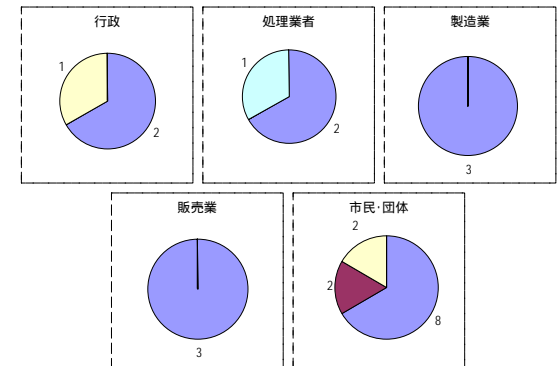
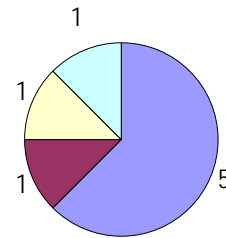
### Aグループ



## 問20 焼却+エネルギー回収を必要機能と考えるか?



### Aグループ



(その他の記述)

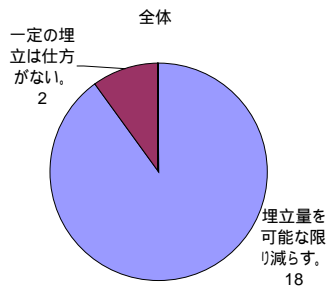
基本的に必要な場合もあり得る。

(付帯意見)

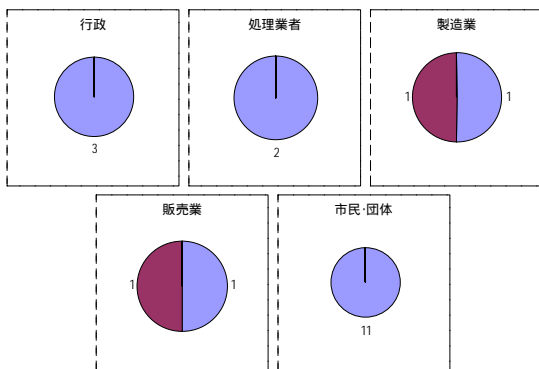
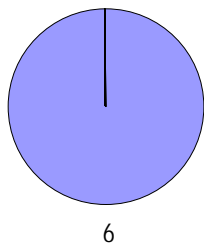
ただし、熱回収は最後にくるべき(エネルギー回収よりも順位は低い)。

# 埋立の方向性

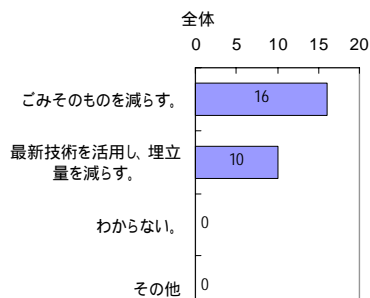
## 問7 埋立処分のあり方



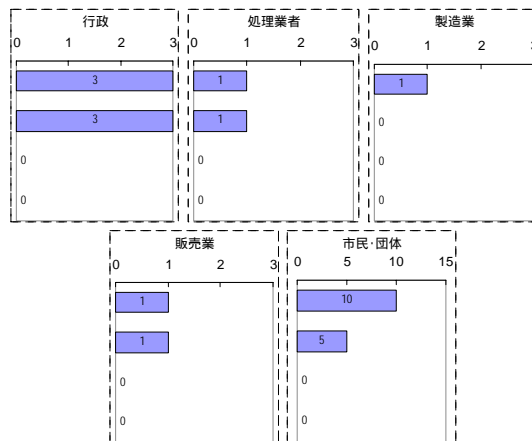
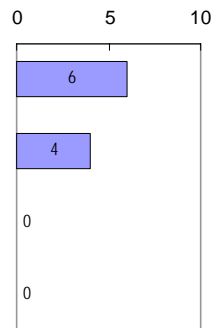
### Aグループ



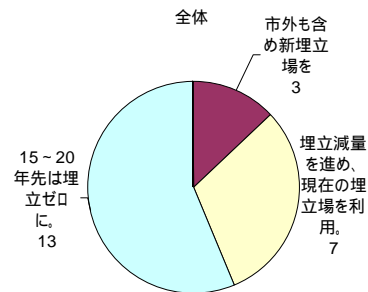
## 問8 埋立量の減らし方



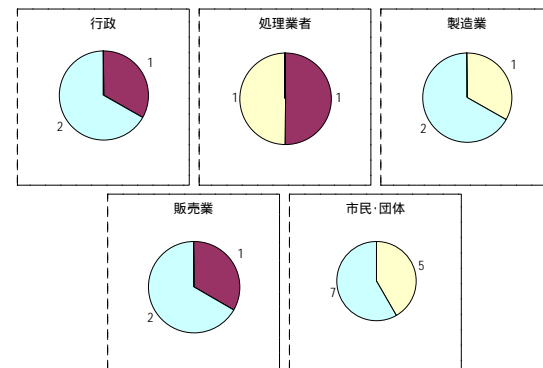
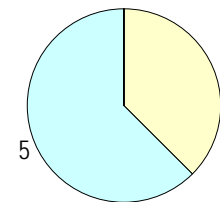
### Aグループ



## 問9 次期埋立場整備について



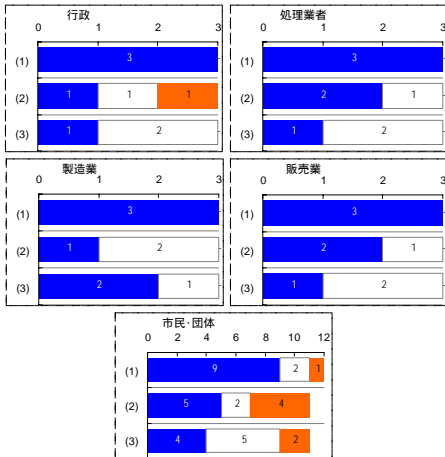
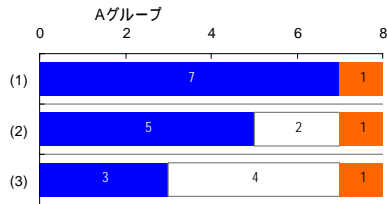
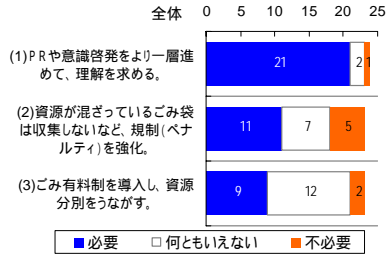
### Aグループ



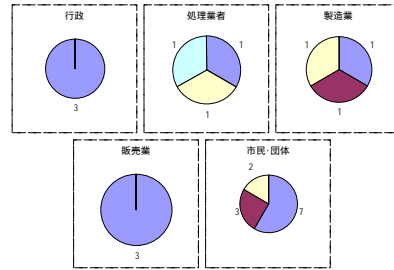
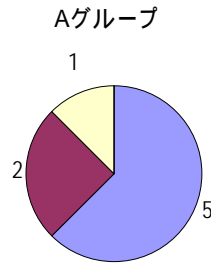
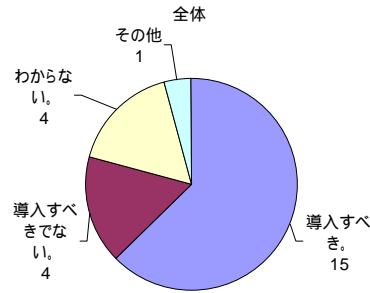


# 費用負担,ごみ有料化など

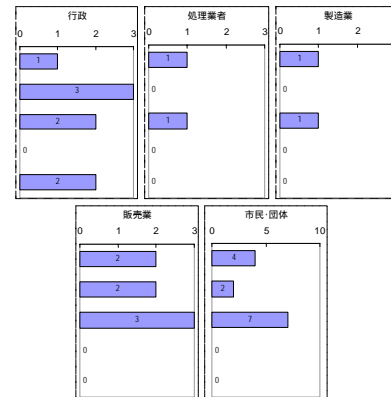
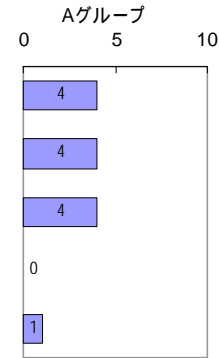
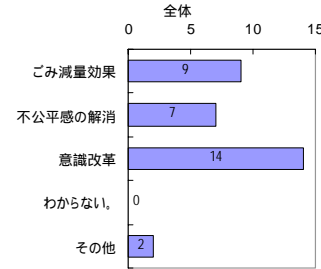
## 問4 非協力者への対策



## 問14 家庭ごみ有料化

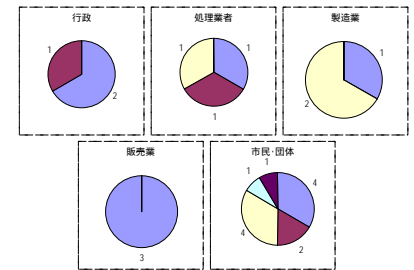
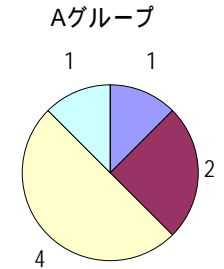
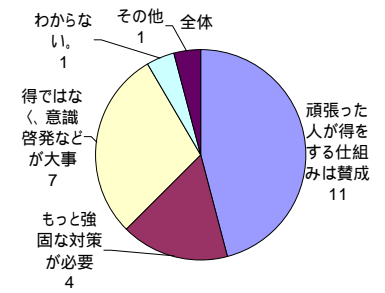


## 問15 有料化の効果



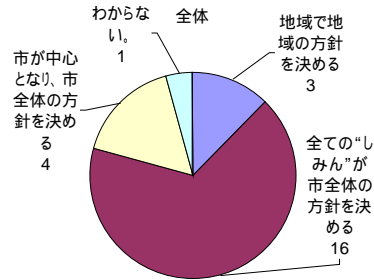
(その他の記述)  
発生抑制への意識づけ効果

## 問18 得をする仕組み

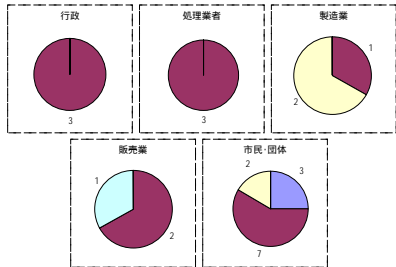
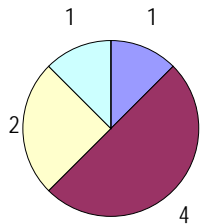


# 意思決定、取り組みの場、役割分担

## 問22 方針決定の方法

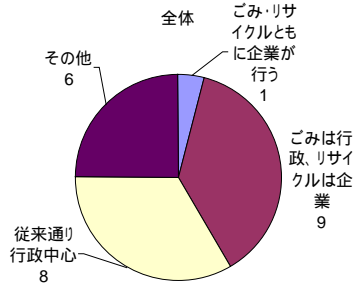


Aグループ

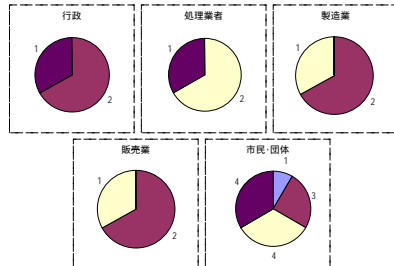
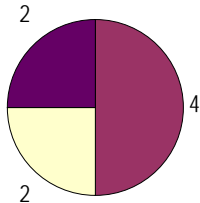


(その他の記述)  
大都市に隣接する地域は、  
大都市の影響を受けやすいので、その点の考慮が  
必要。

## 問23 ごみ・リサイクル の役割分担



Aグループ

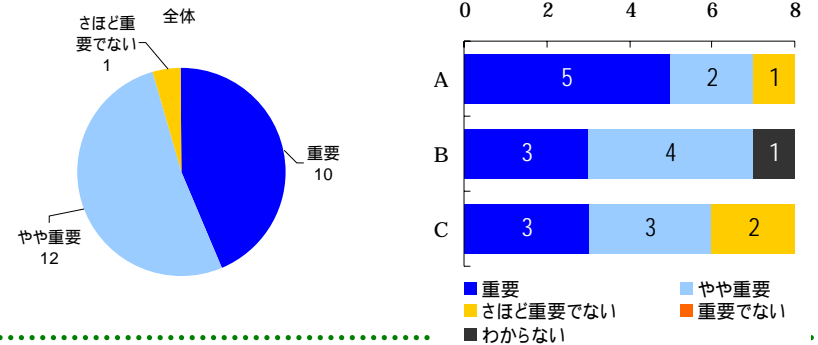


(その他の記述)

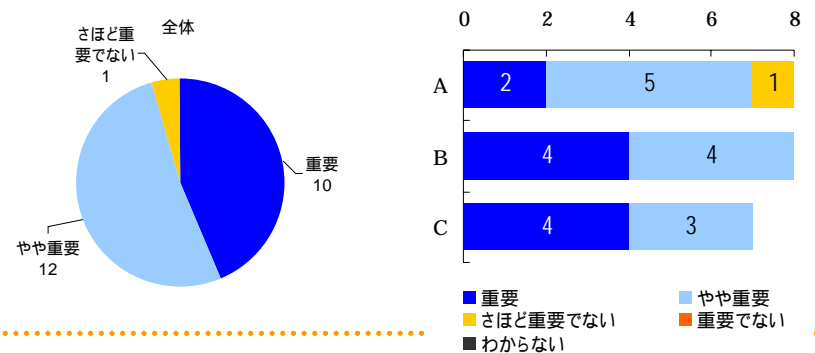
「行政中心」に近いが、リー  
ダーをとるのは行政でよいが、  
コスト負担は企業と消費者が  
担うべき。

どこかということではない。  
(行政が中心となり企業や市  
民の力もかりる)

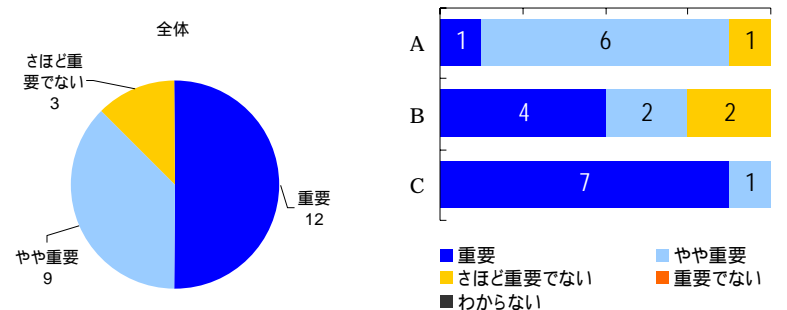
## 問25(2) 中高年・退職組の活動の場



## 問25(3) ごみ・環境のビジネス・雇用

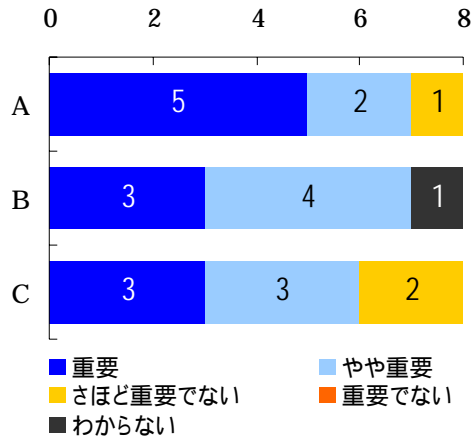
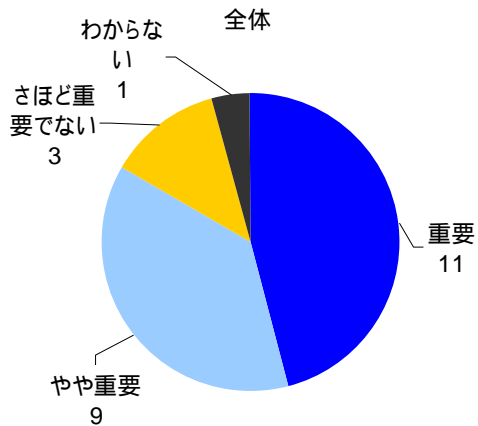


## 問25(4) 異なる世代の交流の場

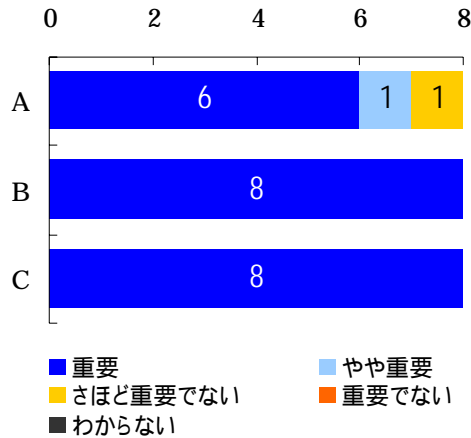
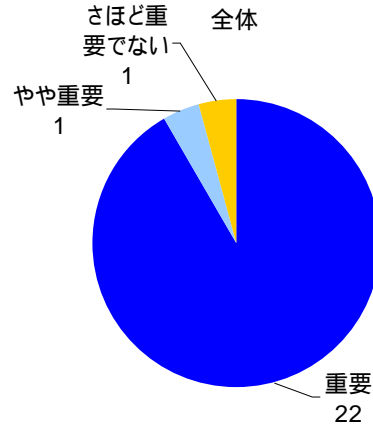


# 教育・人材育成

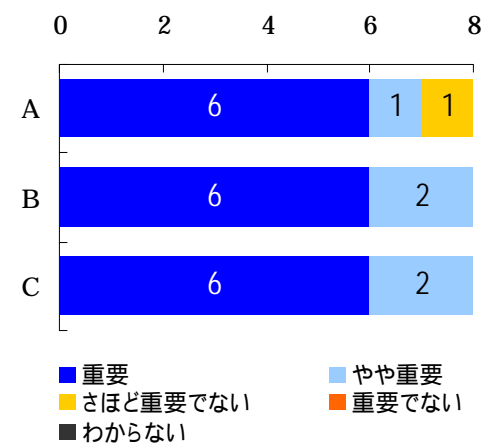
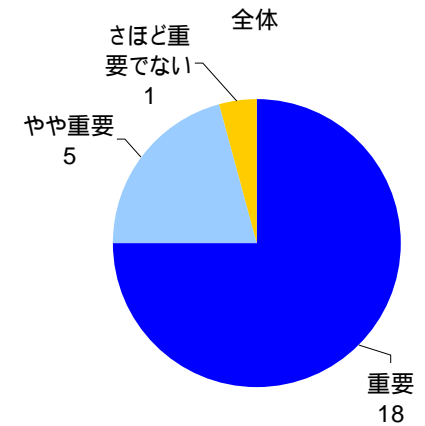
問25(1)地域リーダーの育成



問25(8)実践につながる教育・学習

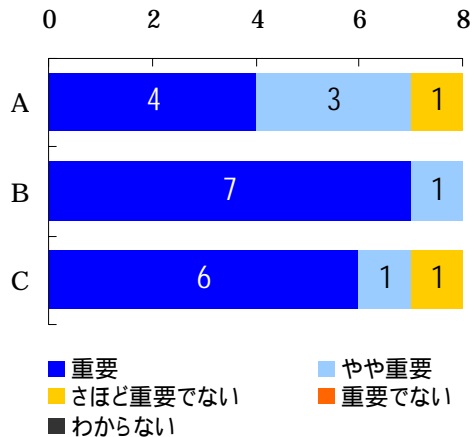
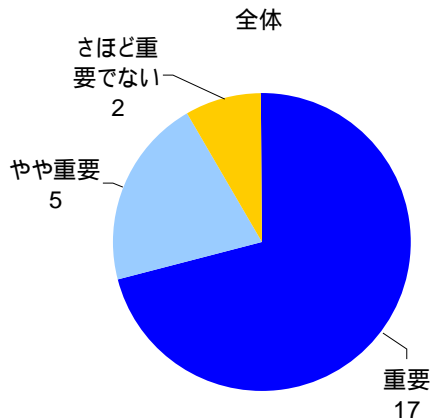


問25(9)大人や企業への教育・学習

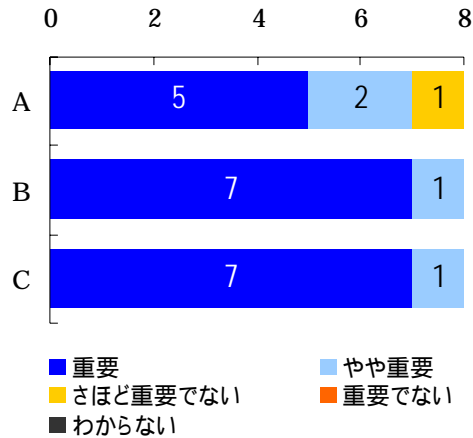
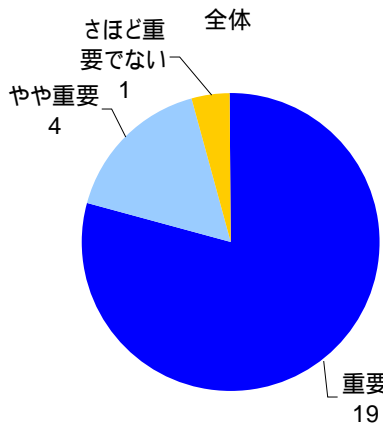


# 情報・コミュニケーション

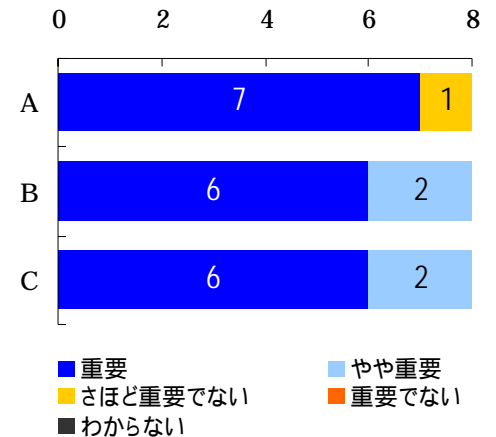
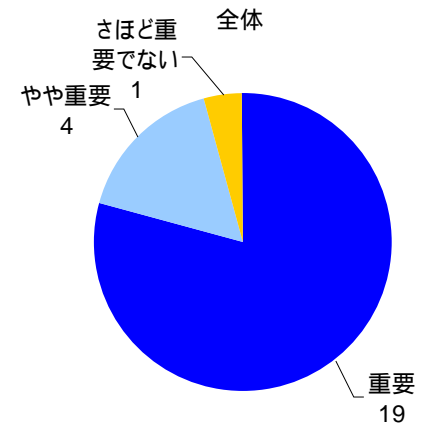
問25(5) 企業と消費者のコミュニケーション



問25(6) ごみ量・費用・負荷の情報

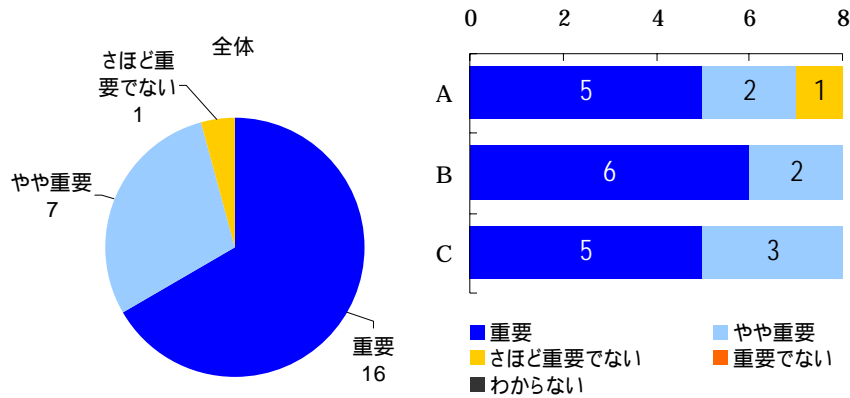


問25(7) ごみ減量効果の情報

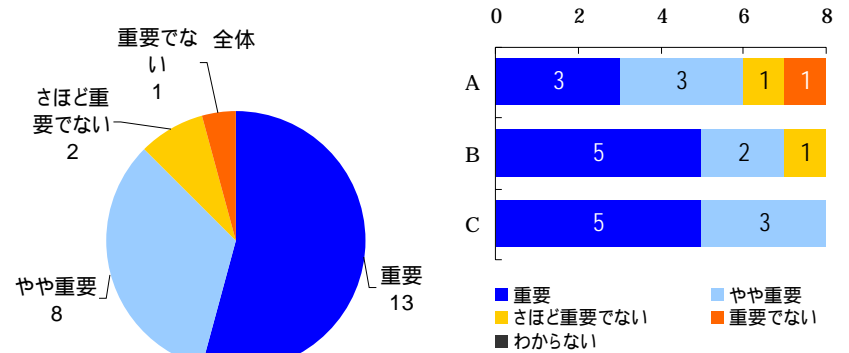


# 価値観・ライフスタイル

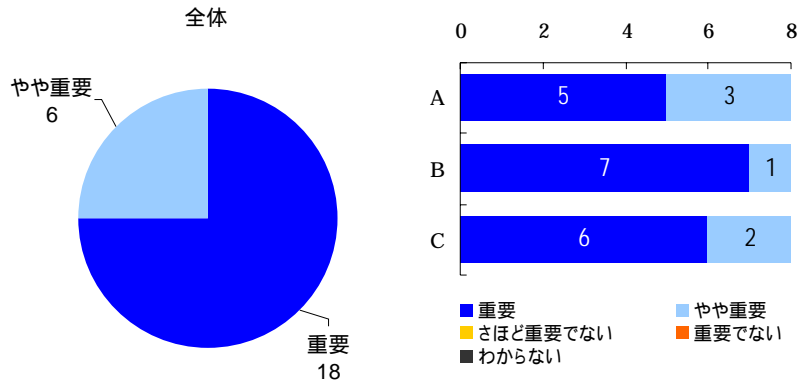
## 問25(10) 環境に価値をおいた買い物・消費



## 問25(12) 不要なモノがゼロになる社会像や目標の共有



## 問25(11) 「もったいない」などの考えの普及と実践



## 問25(13) スローライフなどの価値観の普及と実践

